

やまちゅうスクエア

吹田市立山田中学校 学校だより 令和4年度 第8号

「感謝の気持ち」

校長 小早川 靖樹

朝晩は肌寒くなり、冬への移り変わりを感じる季節となりました。朝の寒さを感じたと思ったら、昼になるといつの間にか心地よい気温になっていることに気が付きます。冬の季語に「小春日和」という言葉があります。辞書で調べると、「11月から12月にかけての、よくはれた春のような感じがする、あたたかいひより。」とあります。春先のことだと勘違いをしている人が多い言葉でもあります。

世間ではサッカーワールドカップに関心が集まり、職員室でもよく話題にのぼっています。テレビをつけると、どこかの局で必ずと言っていいほどワールドカップ関連のニュースが取りあげられています。かくいう私も普段はサッカーの試合を見ることはほとんどありませんが、ワールドカップの日本戦だけは見てしまうにわかサッカーファンになってしまいました。

先日のドイツ戦で日本が逆転勝ちしたニュースが、新聞やテレビ、ネットで多く報道されていました。その中に、「日本の試合後ロッカーが綺麗」という記事がありました。内容は、「日本チームのロッカールームがきれいに掃除されていただけでなく、テーブルの上には折り鶴とともに『ありがとう!!』の日本語と、アラビア語でも感謝が記された置手紙が残されていた」というものでした。また、日本人サポーターが青のゴミ袋を手に、客席に残された食べ物や飲み物の残りなどを拾い集めていたとの報道もありました。

自分たちが使用した場所をきれいにするという行為は、使わせていただいた場所やそれに携わる人に感謝の気持ちを抱き、それを行動で示しているのだと思います。与えられた場所を当然のように使うか、感謝の念をもって使うか、それはその人の人間性が出てくるのではないのでしょうか。

山中のみなさんが、普段から使っている教室、特別教室、部活動で使用している場所、どれも当然みなさんが使用してもよい場所です。そこを使うときに、少しでも感謝の気持ちをもってみませんか？そうすれば、使った場所をきれいしようとする心が出てきます。掃除当番が掃除する前にきれいになっている、そんな山中になったらうれしいですね。

今年の冬は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが同時に流行する可能性があるとの話をよく耳にします。手洗い、マスクの着用はもちろんのこと、教室内の換気には皆さんも気を使ってください。

今号は授業特集です

☆山田中学校ブロック研究授業（教職員研修）

10月26日に山田中学校ブロック（南山田幼・山田第五小・南山田小・山田中）研究授業を実施しました。評価ツールを用いた子どもたち一人ひとりが学習目標の達成度を明確にできる授業づくりをテーマに、1年4組の生徒に授業を受けてもらいました。日本の企業がアジア州に工場を移転する場合どこに工場を建てればよいか、一人ひとりが戦略企画部長として、これまでに学んできたことを活用して、積極的に自己の考えを伝え合っていました。



☆授業参観

11月8日に授業参観を実施しました。当初は10月に実施する予定をしていましたが、工事の関係で延期になってしまいました。ご多用のところ、300名を超える保護者にお越しいただき、普段の子どもたちの授業の様子を見ていただきました。ICTを活用した授業や、体験・実習を伴う授業など、どの教室（クラス）でも積極的・意欲的に授業に取り組んでいました。



☆吹田市立教育センター スーパーティーチャー研修

11月10日に岐阜聖徳学園大学 准教授 山田貞二先生をお招きし、2年6組の生徒に、「カーテンの向こう」という資料でのヤコブの「うそ」から人の生き方について考えることをテーマとした、授業を受けてもらいました。ICTを用いて気持ちを見える化するとともに、山田先生から何度も問いかけられることをとおして、子どもたち一人ひとりの思いや考えがだんだんと深まっていく姿が印象的でした。改めて、授業を受けるときは積極的に、（私には関係ないというのではなく）自分事として取り組むことが大切であると感じました。

